

海上の森自然観察会

テーマ 里山で見られる外来種を調べよう

日時 2012/8/18 10:00~14:00 (晴後雨)

参加者 一般4名、指導員7名

立秋が過ぎても厳しい残暑が続いていますが、ツクツクボウシの鳴き声からは秋の気配が感じられます。

前2回は雨にたたられ、ハッチョウトンボを見に行けませんでしたので、今回は屋戸湿地方面を回ることとしました。これまでだと四ツ沢から三角点を経て屋戸湿地に向かうのですが、今日は気温が高いので、そのコースだと体力の消耗が激しいので、車道に戻って集落の中を抜けるコースをとりました。

途中、テーマの外来種について、アレチヌスビトハギとケブカアレチヌスビトハギを観察しました。ケブカアレチヌスビトハギはまだ正式の和名はなく、飯尾俊介氏が愛知県森林公園植物誌において仮称で紹介している種ですが、急速に分布を広げているようで、海上の森の駐車場で生育していると思ったら、集落から湿地に続く道の堰堤の上流側でも見られました。ひっつき虫の種が衣服について運ばれたものと思います。(なお、在来のヌスビトハギは海上の里の近くで見ることができました。)

湿地の手前では、シマジノタムラソウが咲いていました。また、湿地ではサギソウが咲き、ハッチョウトンボも見られました。大島さんによると、今年は数が多かったとのこと。ここでは他に、キイトンボ、ギンヤンマ、オオシオカラトンボなども見られました。

湿地を過ぎた頃から、遠くで雷鳴が聞かれるようになり、朝の天気予報では大気の状態が不安定で午後から雷雨があるとのことでしたので、赤池方面などには寄らずにそのままサテライトに直行することにしました。

参加者で唯一人子供のK君は、湿地の手前で転んでから、ちょっと不機嫌で、現代っ子らしく、「歩いていてもちっとも楽しくない。TVゲームをしている方がいい。」と言っていました。内海さんにクワガタムシをもらってから、機嫌を直していました。

サテライトで少し遅めの昼食をとっていると、雨が降り出し、雷も近づいてきました。雨宿りして様子を見ていましたが、まだしばらくは雷雨が続くそうということで、サテライトから帰る車にメンバー2名を乗せてもらい、駐車場から車をとってきて、分乗して駐車場まで戻ることになりました。四ツ沢から駐車場の間ではホドイモやオオヒキヨモギの花が見られた(朝早めに来て確認済み)のに、車で通過したのでそれらの観察ができなかったことが心残りでした。(齋竹 善行)

<観察できたもの> 花：クズ、キハギ、センニンソウ、ヤマノイモ、オニドコロ、ヘクソカズラ、ヘクソカズラ、クサギ、ツユクサ、ワレモコウ、コマツナギ、ヒメジョオン、キツネノマゴ、オッタチカタバミ、ハエドクソウ、ノリウツギ、キンミズヒキ、ダイコンソウ、シマジノタムラソウ、ミゾソバ、サギソウ、ミミカキグサ、ヒヨドリバナ、ゲンショウコ、リョウブ、ネコハギ、ミズタマソウ、ミソハギ、ニガナ、ノアザミ、アメリカミズキンバイ

鳥：キジバト、ヒヨドリ、メジロ (声)、ツバメ、ハシブトガラス

爬虫類：カナヘビ、トカゲ

昆虫：コムスジ、ヒメアカタテハ、ツバメシジミ、キチョウ、キアゲハ、ツマグロヒョウモン、ムラサキシジミ、クロアゲハ、ヒメウラナミジャノメ、ハグロトンボ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ、オオシオカラトンボ、チョウトンボ、ギンヤンマ、キイトンボ、ハッチョウトンボ、オニヤンマ、クマゼミ (声)、アブラゼミ、ニイニイゼミ、ツクツクボウシ (声)、ヒグラシ (声)、カナブン、タマムシ、キマワリ、ショウリョウバッタ



(観察会のようす)



(サギソウ)